



G7広島サミット

G7 Hiroshima Summit
Prayer and Symposium by Religious Leaders

宗教者による 祈りとシンポジウム

2023年5月19日～21日に開催されるG7広島サミットでは、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題について、7か国の首脳による率直な意見交換が行われます。世界平和と持続的な発展に向けた対話の場所として選ばれた「国際平和文化都市」である広島において、「宗教者による祈りとシンポジウム」を開催し、平和な世界に向けて祈り、宗教者の役割と取り組みを再確認し、メッセージを発信します。

プログラム PROGRAM

※敬称略

総合司会 黒住昭子（黒住教婦人会会長）

12：00 開場（予定）

12：50 パイプオルガン演奏（オルガニスト：瀬川佳子）J.S.バッハ〈最愛のイエスよ、われらここに集いて〉BWV731

13：00 第1部 『平和に向けての諸宗教の祈り』

開会挨拶 中村憲一郎（立正佼成会参務）

被爆証言 森 重昭（浄土真宗門徒）

諸宗教代表者による祈り

- ・神道
- ・仏教
- ・キリスト教
- ・イスラーム
- ・新宗教
- ・アジア太平洋諸宗教青年ネットワーク

全員で黙とう

13：45 パイプオルガン演奏 L.ボエルマン《ゴシック組曲》より〈聖母マリアへの祈り〉

13：50 第2部 『G7広島サミットに向けてのシンポジウム』

開会挨拶 戸松義晴（WCRP日本委員会理事長／浄土宗心光院住職）

13：55 発題 Part 1

モデレーター 三宅善信（金光教春日丘教会教会長）

- ・西原廉太（立教大学総長）
- ・畠山澄子（ピースポート共同代表）
- ・レンツ・アルガオ（アジア太平洋諸宗教青年ネットワーク議長）

質疑応答

14：50 休憩

15：00 発題 Part 2

- ・ベディ・ラキューレ（MISA4thePacific代表）
- ・宮崎智三（中国新聞社特別論説委員）
- ・白浜 満（カトリック広島司教区教区長）
- ・小武正教（浄土真宗本願寺派西善寺住職）

質疑応答

16：10 G7広島サミットに向けての提言

モデレーター 神谷昌道（ACRPシニアアドバイザー）

読み上げ 深田章子（円応教智章・海外布教センター所長）

16：55 閉会挨拶 田中庸仁（真生会会長）

平和の祈り（黙とう）

17：00 閉会（パイプオルガン演奏）J.S.バッハ〈主よ、人の望みの喜びよ〉BWV147



東京生まれ、広島育ち。成蹊大学文学部卒業。平成 25 年黒住教婦人会会長に就任。産業カウンセラーとして事故や犯罪等の被害者支援に携わる。NPO 法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ理事。また、日本と中国の相互理解、民間交流を促進することをライフワークとして活動している。特定NPO 法人岡山市日中友好協会副会長。

黒住昭子 黒住教婦人会会長

司会



1937年、広島市生まれ。清美・己斐国民学校・幟町中・国泰寺高・中央大卒。山一証券・日本楽器に勤務。8歳の時、己斐で被爆。38歳から被爆調査を開始。米兵捕虜の被爆死を明らかにする。菊池寛賞・日本記者クラブ特別賞を受賞。オバマ米大統領から献花式に招待される。訳書『爆撃機ロンサムレディー号』、トーマス・カートライト著、NHK出版；著書『原爆で死んだ米兵秘史』、潮書房光人新社。

森 重昭 浄土真宗門徒

被爆証言



1983年同志社大学大学院神学研究科博士前期課程修了。ハーバード大学世界宗教研究所研究員、G8宗教指導者サミット事務局長、金光教泉尾教会総長、G20諸宗教フォーラム運営委員長等を歴任。現在、神道国際学会理事長、関西国連協合理事長、金光教春日丘教会長、(株)レルネット代表、IARF国際財務理事等を兼務。

三宅善信 金光教春日丘教会教会長

発題モデレーター



京都生まれ。立教大学総長。日本聖公会中部教区主教。世界宗教者平和会議(WCRP)平和研究所副所長。キリスト教学校教育同盟理事長。日本私立大学連盟常務理事。立教大学文学部キリスト教学科、立教大学大学院キリスト教学研究科教授。世界聖公会大学連合会(CUAC)理事。世界教会協議会(WCC)中央委員。日本基督教学会理事・学会誌編集委員長・前専務理事。

西原廉太 立教大学総長

発題 Part1



ピースボートではおりづるプロジェクトや若者向けの教育プログラム「地球大学」に携わる。2017年3月の国連本部における核兵器禁止条約交渉会議で被爆者のスピーチを通訳。核軍縮に関する国際会議に参加してきた経験から、核をめぐる国際情勢や市民の役割についてさまざまな場で講演を行ってきた。現在はペンシルベニア大学や早稲田大学で核のグローバル史を教えるほか、小中学生向けの平和教育ワークショップなど、平和や戦争をテーマに体験型・参加型のプログラムも数多く行っている。ケンブリッジ大学政治・社会学部卒業、ペンシルベニア大学大学院博士課程修了(科学技術史)。専門は核のグローバル史、科学技術と社会論。共著に『Navigating Disarmament Education: The Peace Boat Model (「軍縮教育 ピースボートの方法論」[英語書籍])』『「殺人口ロボットがやってくる!?軍事ドローンからロボット兵器まで」。

畠山澄子 ピースボート共同代表

発題 Part1



WCRP国際青年委員会コーディネーター、アルガオヘルス社の社長兼最高経営責任者、心理トラウマの国際認定専門家。クリニック管理、ケースマネジメント、心理アセスメント、心理療法、メンタルヘルスと心理社会的支援サービスにおいて10年以上の経験を持つ。平和活動家でもあり、若者のエンパワーメント、環境保護、人道的対応、多様性と包摂性に関する多宗教のアクションを組織している。ハイレベルな会議や国際会議のスピーカーやパネリストとして活躍し、フィリピンやアジア太平洋地域における宗教間青年ネットワークの強化に貢献している。サント・トマス大学の心理学助教授を経て、ファーンハースタン大学、サンベダ大学、アンヘルズ大学財団、マニラ聖霊学院で教鞭をとる。

レンツ・アルガオ アジア太平洋諸宗教青年ネットワーク議長

発題 Part1

登壇者紹介 SPEAKERS ※敬称略



フィジーのスパにある核の正義のために若者、市民社会、より広い太平洋地域社会を連帯させることを目的としている若者主導の組織、MISA4thePacificの代表を務めている。また、太平洋教会協議会の気候正義エキュメニカル・イネイブラーのインターンでもあり、南太平洋大学の大学院で開発学の学位取得を目指している。マーシャル諸島とポンペイ（ミクロネシア連邦）出身で、ハワイとフィジーにルーツを持つ。

ベディ・ラキューレ MISA4thePacific代表

発題 Part2



神戸市生まれ。岡山県倉敷市で小、中、高校時代を過ごす。1980年、京都大学理学部入学。途中、文学部に転部し卒業。1985年、中国新聞社入社。防長本社編集部長や編集局、ヒロシマ平和メディアセンター長など歴任。2019年2月から4年間、論説主幹。今年2月から特別論説委員。この間、1999年に起きた東海村臨界事故を検証し、原子力の商業利用に警鐘を鳴らす連載「被曝と人間」の取材や、2017年の科学ジャーナリスト大賞に選ばれた連載「グレーゾーン 低線量被曝の影響」のデスク役などを担当した。

宮崎智三 中国新聞社特別論説委員

発題 Part2



カトリック広島司教区司教。長崎県の五島生まれ。1985年9月、慶應義塾大学文学部・哲学科（通信教育部）卒業。1990年3月に福岡サン・スルピス大神学院卒業後、カトリック教会の司祭となる。1990年8月からカナダ・モントリオールでフランス語研修、1991年9月～1995年3月、パリ・カトリック学院（典礼高等研究所）にて典礼・秘跡神学を専攻・修士号取得、1995年4月より福岡サン・スルピス大神学院と日本カトリック神学院で教鞭をとり、2016年9月より現職に就任。

白浜 満 カトリック広島司教区教区長

発題 Part2



現在、広島県三次市の浄土真宗本願寺派・西善寺住職。2005年に発足した念仏者九条の会の共同代表。また現在、毎月1日、24日に広島県の宗教者や市民の有志と「ミュンマーを忘れないで」（1日）、「ウクライナに平和を」（24日）の街頭行動を継続中。著書に『親鸞と差別問題』（法蔵館）等。

小武正教 浄土真宗本願寺派西善寺住職

発題 Part2



1981年立正佼成会に入職。1987年米国タフツ大学フレッチャーズ法律・外交大学院修士課程修了。その後、世界宗教者平和会議(WCRP)国際事務総長補佐、副事務総長を歴任。1998年から2002年まで、広島市立大学広島平和研究所で核軍縮分野の特別研究員として勤務。その後、立正佼成会の外務部次長(諸宗教対話担当)、ニューヨーク教会長、国連代表、軍縮問題アドバイザーを歴任。

神谷昌道 ACRPシニアアドバイザー

提言文モデレーター



丹波市生まれ。1988年、米国オレゴンシティー高校へ留学し、翌年卒業。帰国後、1990年に武庫川女子大学附属高等学校卒業。1990年に1990年より、英国、フランスの大学で英語学や政治／経済を学び、1994年からエスモードパリに入学。1997年にファッションデザイナー部門、パタンナー部門それぞれ総合第2位で卒業。1999年、ディナールコンクール2位。2000年にはイタリアのプレタポルテ・コレクションで審査委員特別賞受賞。フランスにて自身のブランド＜Akaikao＞を立ち上げ、衣装・アクセサリーなどのデザインと販売を行う。その他、日本企業に対して日仏の交渉通訳者としても活躍。2016年に帰国し、現職。

深田章子 円応教智章・海外布教センター所長

提言文読み上げ

奏者紹介 ORGANIST ※敬称略



エリザベト音楽大学宗教音楽学科パイプオルガン専攻卒業。オルガンを戸沢真弓氏に、即興演奏を故フランス・ボーン氏に師事。講習会にて、オーストリアでルドルフ・ショルツ、国内で林佑子、ウンベルト・ピネスキーの各氏にレッスンを受ける。世界平和記念聖堂オルガニスト。日本オルガニスト協会会員。

瀬川佳子 オルガニスト

パイプオルガン演奏

